

令和3年12月24日

美里町長 相澤清一 殿

美里町上下水道事業経営審議会
会長 金子浩一



第2次美里町水道事業経営戦略及び第2次美里町下水道事業経営戦略について（答申）

令和3年11月8日付けで諮問があった件について、審議を行った結果、本審議会として意見が集約されたので、下記のとおり答申する。

記

1 第2次美里町水道事業経営戦略について

(1) 水道料金水準について

収益的収入の給水収益では、給水人口の減少や節水器具の普及による水需要の低下により減少傾向の推計となっており、今後の経営環境の厳しさを表すものとなっている。

一方、収益的収支全体に目を向けると、計画的な事業執行により着実に利益をあげることができれば、現金預金残高が増加する見込みであることから、現在の水道料金水準を維持しても、経営の安定化を図ることが可能であると考ええる。

ただし、災害等を要因とする突発的な費用の支出により、経営状況が悪化する事態も想定されるため、今後も水道料金水準について継続的な検討が必要であると考ええる。

(2) 経費の削減について

収益的支出では、動力費や受水費といった費目が経費削減の取組みにより減少傾向の推計であるのに対し、修繕費や委託料が増加傾向の推計となっている。

特に委託料については、令和6年度以降大きく増加しており、経営の負担となっている。令和6年度までに委託内容の見直しや職員体制の検討を行うなど、経費削減に向けた取組みが必要であると考ええる。



(3) 企業債及び建設改良事業について

資本的収入の企業債では、建設改良事業による負担を次世代に先送りしないよう、令和5年度以降の企業債の発行額を対象事業費の95%以下に抑えることで、企業債残高を着実に縮減させる推計となっている。

一方、管路の老朽化により漏水事故が多発している現状を踏まえれば、建設改良事業計画を前倒しすることも検討する必要があると考える。

そのため、毎年度の決算状況を踏まえ、建設改良事業計画の前倒しが可能であるかを検討する必要がある。

2 第2次美里町下水道事業経営戦略について

(1) 資金繰りについて

投資・財政計画における現金預金残高では、令和3年度及び令和7年度以降の現金預金残高が、公共下水道事業と農業集落排水事業の現金預金残高を合算した場合でも、現金不足となる見込みである。これは、企業債償還金の償還財源の不足によるものであるため、償還財源確保のための早急な対策が必要である。

(2) 下水道使用料の水準について

投資・財政計画における収益的収入の料金収入では、公共下水道事業が拡張期にあることから、使用者の増加を見込み増加傾向の推計となっている。一方、農業集落排水事業では人口の減少により減少傾向の推計となっており、農業集落排水事業単独での経営環境の厳しさを表すものとなっている。

収益的収支全体に目を向けると、公共下水道事業及び農業集落排水事業ともに、一般会計からの地方公営企業繰出金で収支均衡が保たれている状況であり、特に農業集落排水事業においては、下水道使用料で賄えない維持管理費を、一般会計からの基準外の地方公営企業繰出金で賄っている状況であることから、現在の下水道使用料の水準では、事業の継続が困難であると考ええる。

早急に下水道使用料の見直しを検討する必要があると考える。

(3) 経費の削減について

投資・財政計画における収益的支出では、動力費については減少傾向の推計となっているのに対し、委託料等の維持管理経費が増加傾向の推計となっている。

下水道使用料の見直しを検討する上でも、経費の削減は重要な課題であることから、動力費だけではなく、委託内容の見直しを行うなど、経費削減に向けた取組みが必要であると考えます。

3 付帯意見

(1) 経営状況の把握と課題の検討について

水道事業及び下水道事業ともに、人口減少、施設の老朽化、災害リスクの高まり等が共通の課題となっており、経営の健全化・効率化の取組みが求められている。

そのため、本経営戦略の策定後も、PDCA サイクルにより、毎年度の決算状況を反映させ計画と実績の乖離の分析を行うとともに、現在の水道料金及び下水道使用料の水準が適切であるか、建設改良事業計画の進捗状況は順調かを確認するなど、経営状況の把握と課題の検討を定期的に行うこと。

(2) 下水道事業の経営健全化について

下水道事業の経営戦略では、令和3年度及び令和7年度以降の資金収支が現金不足になる見込みであるなど、経営健全化の取組みが必要である。

下水道使用料の見直しや一般会計からの支援のあり方について取りまとめた経営健全化計画の策定を早急に行うこと。

また、下水道使用料の見直しに当たっては、予め使用者の理解を得られるよう十分な情報提供に努めること。

令和3年度美里町上下水道事業経営審議会委員名簿

氏名	役職名等	備考
金子 浩一	宮城大学准教授	会長
菊池 文夫	税理士	副会長
高橋 篤	七十七銀行支店長	
佐々木 豊	元大崎市職員	

審議経過

回	日時・場所	内容
1	令和3年 8月30日(月) 美里町上下水道 課2階会議室	第1回美里町上下水道事業経営審議会 ① 委嘱状交付式 ② 会長・副会長の選出 ③ 公営企業会計制度の概要と美里町上下水道事業の課題等
2	11月8日(月) 美里町上下水道 課2階会議室	第2回美里町上下水道事業経営審議会 ① 第2次美里町水道事業経営戦略(案)の説明 ② 第2次美里町下水道事業経営戦略(案)の説明
3	11月15日(月) 美里町上下水道 課2階会議室	第3回美里町上下水道事業経営審議会 ① 第2次美里町水道事業経営戦略(案)の補足説明 ② 第2次美里町水道事業経営戦略(案)の内容審議
4	12月6日(月) 美里町上下水道 課2階会議室	第4回美里町上下水道事業経営審議会 ① 第2次美里町下水道事業経営戦略(案)の補足説明 ② 第2次美里町下水道事業経営戦略(案)の内容審議
5	12月20日(月) 美里町上下水道 課2階会議室	第5回美里町上下水道事業経営審議会 ① 答申書(案)のまとめ
6	12月24日(金) 美里町上下水道 課2階会議室	第6回美里町上下水道事業経営審議会 ① 答申内容の確認